

呼吸のアンサンブル

古楽で知る、リコーダーと声楽の世界

クラシックコンサートをお楽しみいただ後、
リコーダーと声楽のワークショップに参加
できますので、リコーダーをお持ちの方は、
ぜひ当日ご持参ください。
もちろん見学のみ、鑑賞のみでのご参加も
大歓迎です。

ソプラノ
岡田 美奈子

リコーダー
邊保 陽一

チェンバロ
恒見 典子

✦ ソプラノ独唱 ✦

イタリア古典歌曲集より

Gioite al canto mio
私の歌に合わせて喜べ

Jacopo Peri 作曲

Amor, ch'attendi?

愛の神よ、何を待っているのですか

Giulio Caccini 作曲

Per la gloria d'adorarvi

お前を讃える栄光のために

Giovanni Battista Bononcini 作曲

Lascia ch'io pianga

私を泣かせてください

Georg Friedrich Händel 作曲

✦ リコーダー独奏 ✦

A. ファルコニエリ
室内ソナタ

G.B. フォンタナ
ソナタ第2番

✦ アンサンブル ✦

Ich bin getauft in Christi Tode
我はキリストの死において洗礼を受けり
GP テレマン作曲 TWV 1:810

主催／音色のまちづくり実行委員会

7/17 Friday
19:00~20:30 (18:45 開場)
ノバホール 小ホール

3回シリーズです。3回のご参加をお勧めしております (1回のみご参加でもお楽しみいただけます)

9/25 (Fri) 10/23 (Fri)

チケット
【当日】一般：2,500 円／学生：1,500 円
【前売】一般：2,000 円／学生：1,000 円

詳細は
こちら▶



情操教育・芸術文化振興を理念にイベントを企画運営している音色のまちづくり実行委員会。

本企画は、プロ演奏家による質の高い演奏鑑賞と、呼吸や発声を体験する参加型ワークショップの両輪で構成します。

リコーダーは義務教育で広く扱われる楽器でありながら、その芸術的価値や高度な演奏表現に触れる機会は限られています。

また、歌うことは誰にとっても身近な行為ですが、クラシック声楽に触れる機会は地域において決して多くありません。

本企画では、身近な存在であるリコーダーと声楽を「芸術楽器」として提示し、教育の延長ではない“本物の音楽体験”を提供します。これにより、音楽が持つ奥行きや表現力を体感し、文化芸術への関心を育みます。

現代社会では、世代間・地域間のつながりが希薄化し、芸術体験の機会格差も広がっています。

リコーダーと声楽はいずれも「息」を音にする楽器であり、人間の根源的な営みである“呼吸”を共有する表現です。

チェンバロ等の楽器も交えながら、音楽を通じた共感と交流の場を創出します。



声楽

岡田 美奈子

声楽家・つくば少年少女合唱団指導者
愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。
同大学定期演奏会、広島市新人演奏会出演。

ウィーンで発声法と伴奏法を学ぶ。各地でソプラノリサイタル、デュオリサイタルを開催。ニューヨーク国連本部での演奏会に出演。

ヴォーカルアカデミーつくば、アンサンブル「音の玉手箱」会員。



リコーダー

邊保 陽一

筑波大学卒業後渡欧、スペイン、カタルーニャ高等音楽院に学ぶ。その後、スイス政府奨学生（国費給付生）としてチューリッヒ芸術大学大学院にてデュプロマを取得、最優秀の成績で卒業。これまでにリコーダーを向江昭雅、ペドロ・メメルスドルフ、ケース・ブッケの各氏に師事。17世紀ヨーロッパ音楽の研究や演奏に熱意を注ぎ、国内外の有名古楽アンサンブルと共演する他、ブッケ氏とデュオコンサートツアーやファン・ハウヴェ氏との共演、定期的にリサイタルを行うなど精力的に活動している。また指導者としても多くの愛好家指導に加え、国内外の有名コンクール受賞者を輩出するなど大きな成果を上げている。

録音では2015年デビューCD「狂気と嘆き、そして喜び〜17世紀イタリア音楽の隆盛〜」（鴨川華子 cemb）を皮切りに、2018年「DUO 〜神に捧げるデュオ（共演：K. ブッケ）」、2020年「パリの喜び〜オルレアン公フィリップのフランス・バロック音楽〜」（T. バエテ g、郡司和也 cemb）、2025年「英国革命〜この世界の美の精髓〜17世紀イングランドの音楽」（T. バエテ g、加久間朋子 cemb）を ALM コジマ録音よりリリース、いずれも高い評価を得た。リコーダーアンサンブル「百花繚乱」、ジョーバンバロックアンサンブル、各メンバー。ナカルリコーダー教室つくばリコーダー合宿主宰。麻布ミュージックブレイス講師。 ◎公式ウェブサイト <https://www.hembo.jp/>

チェンバロ

恒見 典子

大阪芸術大学芸術学部演奏学科ピアノ専攻卒業。高校及び大学在学中に関西フィルハーモニー管弦楽団とピアノ協奏曲を共演。大学入学後にチェンバロを始め、河野まり子氏に師事。学内卒業演奏会等に出演。F・ランジュレ女史のマスタークラスを受講の他、西村喜子、D・ハッチャーの各氏に古楽アンサンブルの指導を受ける。

これまでに、コレgium大阪「メサイア」公演、関西室内楽協会チャペルコンサートシリーズ、J-CITY TOKYO ミュゼリウムコンサート 2009 等に出演。チェンバロブレッジャー 2010ヴィルトウオーゾ部門において準グランプリ受賞。2004年よりチェンバロ及び通奏低音を岡田龍之介氏に師事。古楽グループ「ムジカ・トリッロ」主宰。日本チェンバロ協会正会員。



- ①7月17日（金）19：00～20：30（18：45開場） 前売り発売期間：7月16日（木）23：59
②9月25日（金）19：00～20：30（18：45開場） 前売り発売期間：9月25日（木）23：59
③10月23日（金）19：00～20：30（18：45開場） 前売り発売期間：10月22日（木）23：59

お申込みは
こちら▶

